

## 平成29年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	上越市をアピールする看板のリニューアル
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 准教授 伊藤将和
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) みんなの会 (担当者職名・氏名) 古澤 幸治
4 事業の趣旨・目的	<p>上越妙高駅開業にあたり、地域住民（大和5丁目有志）によりみんなの会が結成され、新幹線当地開通を祝う看板を制作し、大和5丁目町内会館壁面に展示された。当駅開業から2年以上経過し、一度その役目を終えた看板を、大和小学校児童とみんなの会、本学の学生らが協力し、描き直すことで、新幹線を利用し上越を訪れる人に向け、上越をアピールする看板として再生させた。</p>
5 事業活動報告	<p>みんなの会（古澤代表）から、看板再生についての依頼を受け、看板が制作された趣旨や経緯を伺うなかで、本活動を地域住民にとってより良いものにしたいとの申し出から、大和小学校の児童たちに協力を要請した。大和小学校の快諾を受け、みんなの会、小学校児童、本学の学生が協力し、連携をとりながら看板を描き変える活動とした。すでに看板に描かれている新幹線の形を活かしながら、上越にゆかりのあるモチーフを描き加えることで、上越市をアピールするものへと変換していくこととした。モチーフの選定には大和小学校6年生の児童から聞き取り調査を行い、本学学生が調査結果をもとに、妙高山、笹団子などのモチーフを加えた、新しいレイアウトを提案した。看板制作はワークショップ形式とし、大和小学校の児童、みんなの会、学生と共同で制作し、学年ごとに活動内容を変え、児童全員が制作に関わることを前提とした。完成した看板は、町内会館壁面に再度展示され、上越妙高駅西口ロビーから鑑賞することが可能となった。</p>
6 本事業で得られた成果	<p>本活動を通して、地域住民と地域の小学生が、共同で看板を制作することで、上越市がもつ地域資源への再考と、地域住民同士の世代を超えたコミュニティの形成へと貢献できた。また、本活動は当初より JCV（上越ケーブルビジョン）により取材され、活動の様子を「みんなの学校」番組内にて放映された。また、看板のお披露目会（除幕式）には上越タイムスにも掲載された。これにより、広く上越市民に活動自体を周知してもらえることとなり、本活動の意義を伝えることができた。なにより美術を通じた地域貢献の活動としてアピールすることができた。</p>
7 その他 <small>(成果物等の名称)</small>	



提出期限：平成30年4月13日（金）